嬉野小学校学校便り　文責　永池守　六月三十日

時習七月号

半夏生」（はんげしょう）

夏至から数えて十一日目（毎年七月二日頃にあたる。）ごろで、農家にとっては大事な節目の日です。この日までに農作業を終え、この日から五日間は休みとする地方もあると聞きます。この日は昔から、天から毒気が降ると言われ、井戸に蓋をして毒気を防いだり、この日に採った野菜は食べてはいけないとされたりした。この頃に降る雨を「半夏雨」（はんげあめ）といい大雨になることが多いそうです。

最近では、温暖化の影響でしょうか局地的な大雨が頻発して、世界規模で大きな災害も発生しているようです。

さて、嬉野地区でも、このところ梅雨本番でもあり、大雨注意報・警報も出され、かなりの雨が降っています。まさに半夏雨ですね。

登校してきている様子や帰りの様子を見ていると、玄関先では、赤や黄色の鮮やかな傘の花が咲きます。一年生の小さな傘や長靴の華やかな色でいっぱいになります。一年生は体が小さいので長靴と傘だけが歩いているような錯覚を起こす光景もあります。ほとんどの子供たちが、しっかり歩いて登校ができています

このところ連日の雨で、学校では外で遊べずに子供たちは困っているようです。しかし、そこは、6年生や5年生の委員会の子供たちが「雨の日の遊び」を考え、体育館での「みんなでゲーム」や部屋遊びの紹介など工夫をしてくれています。

雨の日は、雨の日を楽しむしかないのです。だから工夫も生まれてきています。

怪我をしないように見守って指導をしています。

チャレンジテスト週

もう七月（文月）

夏休みまで残すところ二十日です。あっという間の一学期前半の終わりです。十三日間の授業日しかありません。

チャレンジテスト週間も始まります。前半のまとめです。しっかり定着させたいと思います。家庭でも応援よろしくお願いします。学校は、学習が基本です。学習内容の定着のために夏休みは午前中、学習会（七月二十二日から二十七日）を予定しています。水泳教室も計画しています。

また、二十二日からは三十日までは個人懇談を予定しています。お忙しい中ですがご都合をつけご出席ください。よろしくお願いします。

国際化時代！　韓国プギョン大学院）

二十五名の大学院生と教授の皆さんでした。一時間通訳を交えて熱心に話し合い、その後授業参観を行いました。給食のあり方や安全教育のあり方、学校評価が話題になりました。雑談の中で、何より子どもが放課後自由にしているのが素晴らしいとのことでした。韓国の子供たちは放課後ほとんど全員塾通いだそうです。激しい競争社会の一端を感じました。学校にプール・テニスコートがあるのもいいですねということでした。